

# 磐城時報

行發日十二  
編輯兼發行 岡田 忠成  
印刷 磐城時報社  
印刷所 磐城時報社  
一部金貳圓 一月金貳圓  
廣告料一行十四字日五十五  
日刊(日曜祝祭日)週日休刊

## 割當七万圓のうち

### 残るは一萬七千圓

#### 事變國債賣行も益々好調

平局の事變國債はその後も賣行終了を待つて二十六日招集と大  
好調で  
十六日 千二百五十圓  
十七日 六十圓  
十九日 四千四百五十圓  
けふ二十日は午前中二百五十圓  
を賣り割當七万一千圓に對し  
目下残つてゐる分は  
十四日 千四百五十圓  
十五日 千四百五十圓  
十六日 千四百五十圓  
十七日 千四百五十圓  
十八日 千四百五十圓  
十九日 千四百五十圓  
二十日 千四百五十圓  
二十一日 千四百五十圓  
二十二日 千四百五十圓  
二十三日 千四百五十圓  
二十四日 千四百五十圓  
二十五日 千四百五十圓  
二十六日 千四百五十圓  
二十七日 千四百五十圓  
二十八日 千四百五十圓  
二十九日 千四百五十圓  
三十日 千四百五十圓

#### 日の皇子祝日

平市の催し決る  
来る二十三日の 皇太子殿下御  
誕辰御祝ひの催しにつき愛婦分  
會では幹部會で協議の結果  
當日午前九時から市公會堂に  
愛婦分會員、小學兒童が集合  
し兒童奉祝作品の賞状授與式  
を舉行  
この合計一萬七千五百五十圓で  
あるがこのうちには豫約申込の  
分もあり、二十四日までは全  
部賣つくものと局では樂觀し  
てゐる

#### 最終の平市會

大休廿六日招集  
平市の本年最終の市會は縣會の  
平商工會では當局の景品額引付  
き賣出し禁止令に基つき地方商  
店の年中行事となつてゐる舊正  
月初の賣出しを如何にすべきか  
について去る十七日夜市内の各  
種業者代表三十余名をマルト  
モホールに召集を求め協議會を  
乃至二時の拂曉開店をやめて午

## 景品を減らして

### 努めて實質的に

#### 舊正月初賣し方針決定

平商工會では當局の景品額引付  
き賣出し禁止令に基つき地方商  
店の年中行事となつてゐる舊正  
月初の賣出しを如何にすべきか  
について去る十七日夜市内の各  
種業者代表三十余名をマルト  
モホールに召集を求め協議會を  
乃至二時の拂曉開店をやめて午

感問品に是非一本  
「たひら羊羹」  
如何なる長期間にも  
絶對不變せず  
松月堂

#### 市公會堂で開く

祝賀新年會  
平市では恒例の新年名刺交換會  
を戦後祝賀新年會と改め一月一  
日午前九時から公會堂で開催す  
ることに決定、會費は三十錢

#### お祭り騒ぎするな

歸還兵歓迎には  
平市ではこの程師團當局から歸  
還兵の歓迎につき徒らにお祭り  
騒ぎをせぬやうにとの方針を示  
して來たので、近く各區長を通  
じ左の如き趣旨を市民に周知せ  
しめることになつた  
歸還兵は事變終了したために  
凱旋するのではなく長期作戦  
に對處するため軍の命令で一  
時内地に歸還して豫備隊の位  
置に後退するのである、若し  
万一にも上述の趣旨をばき違  
へて長期の覚悟に少しも動  
搖を起すやうなことがあつた  
ならこの現象は直ちに外國に  
反映し忽ち敵の戦意を強め敵  
の逆宣傳に乗せらるゝやうな  
結果となり由々しき大事とな  
ることは明らかである、歸還  
兵に對する歓迎會、祝賀會等  
はこれを行はず、アチや流  
し旗等は嚴し最も精神的に感  
謝の意をひききしてその功勞  
をたゞへ度いと思ふ、神社の  
社頭に於て報告祭を舉行し神  
前にて武運の加護を謝し將來

#### 青沼市長上京

市長は二十一日午前十時衆議院  
議長會で開かれる東北振興聯  
合總會に出席のため上京  
平商工會では商店法の實施によ  
り一月一回の公休日と與へられた  
市内商店々員二千名の指導機關  
として店主、店員全部を網羅し  
た平市商店報國會を組織するこ  
とになり明春一月早々協議會を  
開き具休案を作り一月中旬頃發  
會式を擧げることになつた

#### 出征教員慰問

市内各學校で  
警中、警女、平第一、第二、第  
三各校では市内の出征教員十六  
社頭に於て報告祭を舉行し神  
前にて武運の加護を謝し將來

## 小學校教員と

### 吏員の恵比壽顔

#### 市役所のボーナス支給

平市役所では二十日八十余名の  
金吏員に二千五百圓、平商、第  
一、第二、第三、第四小學校教  
員に四千五百圓のボーナスを支  
給した、平均六割程度で總額の  
一割七百圓で勸業貯蓄債券を購  
入し  
ボーナス三十五圓に對し五圓  
の今度はないらしい

## 街の探偵を表彰

### けふ防犯講演會席上で

平署では防犯週第一日目の付  
けで十八日大分會を開き十三  
ふ午前十時から市内平館(昨  
公會堂は限り)で防犯講演と映  
畫會を開催したが席上刑事協會  
平支部では同署の犯人捜査に功  
勞あつた街の探偵左の六氏を金  
一封を添へて表彰した  
平市才拙小路西山光夫、堂ノ  
前淺野孝治、長橋町武藤一義  
南町井坂イコウ、内郷村浦生  
弘、同嶺崎與平

#### 内郷愛婦活動

愛婦内郷村分會は去る十七日か  
ら三日間各部落に分れて日用品  
を販賣、純益を皇軍慰問費に充  
てる

#### 林壽し

天祥と改稱  
營業擴張  
江戶前露し、料理が好評を博し  
た市内三丁目林壽しでは今回從  
來營業してゐたカフェー天地を  
夏井大字會 夏井村上大合併し店內を擴張の上東郷から

## 「南京陥落一週年

### の思出」(四)

木村 守江

斯うなつてはめれたものと  
堂々先頭を切つて前進した、  
三軒も前進した頃には鳥籠山  
にあるのが立花君等の率ゐる  
第一〇隊であることが肉眼で  
見えた、その中から山田隊長  
も後から追つて來た、こ  
んな具合で鳥籠山に到着した

一流の料理人を聘し天祥と改稱  
江戸前お好み天祥を主に  
し、小料理屋を開業したが早く  
も食通達の人気を呼んで大入  
員の様である  
天気豫報  
今晩北風、後晴  
明日も同じ

新年文藝募集  
俳句 題「冬雜詠」  
川柳 題「元旦」「新年」  
▲締切十二月二十三日、宛名、磐城時報社新年文藝保  
▲一人でも種類應募する可、但し用紙は必ず別々と  
する▲紙上署名は自由なれど原稿の末尾に住所氏  
名明記のこと▲入選者には謝禮を呈す  
磐城時報社

出前迅速  
御料理  
むぎとろ  
さつき  
平市紅小路電四八八

債券・公債  
兩替・金融  
多田井質店  
平市大工町電五九一

も車でも歩くと引かゝるやう  
にしてあつた、若し夕方でも  
こゝを前進するものなら此の  
地雷に引か、つて多数の犠牲  
者を出したであらうと案ぜら  
れた、これを考へた丈でも頭  
張つて無理に部隊を明るの中  
こゝまで前進せしめたこと  
はよいことだと思つた、然し  
これはあまり良い事ではな  
かつたらしい、第一こんな事は  
軍隊生活をやつたことのない  
本當の素人軍人の自分だから  
出來たこと、本職の軍人には

一日一言

國道改良費の復活

懸案の六號國道改良費は昨報の如く關係町村當局の熾烈運動が奏効し、大蔵省の査定で一旦削除されたが復活を見るに至つたことは、關係地に住む市民として喜びに堪へないと同時に市町村當局の勞を多とし、感謝の意を表するものである

野澤武藏

係市町村當局は勿論、縣當局に於ても豫算復活に樂觀せず機會ある毎に關係主務省に猛運動を行ひ、六號國道の改良工事を繼續事業たらしめ、全線に亘つて完成せしむるやう不斷の運動を切望して止まないものである

◇ 十萬圓の豫算は理想とする舗装に足りぬことは論を俟たず、路面整理費としても一部分に過ぎないが、明年度に於て工を起すに至つたことは將來への希望を具現したものであつて、舗装への可能性を接近せしめたことは事實である實施設計の完成せぬ今日、明年度に於て何處を改良するかは未知數であるが、一般市町村の希望する箇所は、湯本、平間、平、四倉間、湯本、四倉間の順序であり、明年は最も交通量の多い湯本、平間を施工するものと見るべきである

◇ 唯だ遺憾なことは繼續事業とせず、短年度道路改良費に計上されたことである、繼續事業とすれば勿論明後年度に對する不安はないが、短年度なるがため、次年度に於て如何なる運命に遭遇するか豫想を許さず、甚だ心細い限りである、豫算取得の方法は地方市町村と政府との如何に依らず、不斷のネバリが大切である、道路工事は材料を用ひず單なる勞力作業に依つて施行が出来ない時局の資源統制と抵觸せざるのみか、失業者救済策にもなり、一石二鳥の効果を擧げるものであるから、關

御披露 江戸前 天婦羅 御好み 壽司 平三 天 杵 小料理 電話六七九

新文具御案内 マルトモ書店入荷品 高雅ハガキ臺紙 十枚 八錢 唐紙 十枚 純白榮光紙 十枚 桃色文禮紙 百枚 茶色文禮紙 七十錢 其他 年費用として印刷なされても御自筆せられても至極高尙雅緻方御婦人何れも好適

強電力氣應用 神經痛に特效 加納活版所

魚清なべ料理 自慢のなべ料理 鳥なべ・もりなべ・よせなべ・ねぎまなべ かななべ・はもなべ・あんこなべ・その他 平三 魚清食堂 出前持・炊事婦人用 電話六三三番

最新流行の 下駄と草履 ドコヨリモ安い 三井履物店 平南町 電話一八一番

先づ健康! 指壓療法と電気治療 巡回治療もいたします 申込次第出張いたします 四倉驛前仲田七二 指壓電気治療所 渡邊虎太郎

太鼓 各種 樂器 神社佛閣用太鼓 武徳道場用太鼓 歓迎迎音樂隊樂器(タナベ製品) カタログ進呈 平市六町目 佐藤太鼓樂器店 電話四八三

富岡株式会社 平市四丁目三十三 電話二五八 實株ハ買ツテ御手元へ 必ズ儲カル優良株 投資指針

平病院 院長 醫學博士 鈴木 木定藏 内科・小兒科 院長 鈴木 木定藏 物理療法科 院長 鈴木 木定藏 内臓外科 副院長 高橋 俊幸 一般外科 副院長 高橋 俊幸 皮膚泌尿器科 部長 吉本 孝平 藥劑科 部長 吉本 孝平 診療時間 午前八時ヨリ午後九時迄 (急患ハ此ノ限リムアラス) 往診隨時 病室完備(自炊ノ便アリ)

内臓外科 院長 安齋 徹 エキス光線 産婦人科 醫學士 黒澤 廣 入院隨意 安齋醫院 平市田町(電話四五七番)

内科 レント 小兒科 ゲン科 四倉町(電話三三番) 吉田醫院 醫學博士 吉田 正

花柳病科 泌尿器科 皮膚科 門專 診療 午前八時ヨリ 午後九時まで (入院隨意) 江尻醫院 醫學博士 江尻伊三郎 平市田町(電話六九二)

中古各種レール鐵管 礦山用機械・機具類 二大製鐵會社特約店 海軍工廠御用達 買賣 仲介 平銅鐵機械商會 代表社員 井尻 七三郎 平市銀治町九(電話五三三番) 御買上用品は精々御安く納品致します 御拂下げ品は精々高價に買受けします